

【ご質問①】

増えた家畜はどこで消費されているのですか。乳・肉製品が国外へ輸出されているのですか。

【回答】

乳・肉製品として、特に中国やロシアなど国外へ輸出されています。

【ご質問②】

凍土のうち、氷が少ないものと多いものとの割合はどれくらいですか？

【回答】

今のところ、その割合は分かっていません。ただし、ロシアやカナダなど北極圏に近い地域では、氷が多い永久凍土が広く分布しているため、面積的に大きな割合を占めていると考えられています。

【ご質問③】

永久凍土の融解、家畜の増加などによる温室効果ガス（GHG）放出量が増大しているのではと考えますが、報告はありますか？

【回答】

我々は、モンゴルの永久凍土地域と非永久凍土地域で CO₂ フラックスを測定しています。測定の結果、永久凍土地域の CO₂ 吸収量が非永久凍土地域より大きいことが分かっており、永久凍土の融解によって CO₂ 放出量が増えると推測できます。この成果は国際誌に投稿されており、近いうちに出版される予定です。

【ご質問④】

モンゴルの草地が、森林地などよりも、永久凍土が融けやすいというデータがありました。その原因は、何でしょうか。

【回答】

草原地域の永久凍土が融けやすい原因は、地表面の被覆が薄いために表面温度が高く、しかも土壌層も乾燥していて、熱を地下に伝達しやすいためです。

【ご質問⑤】

なぜ、モンゴルでは、地球温暖化が他の地域よりより高く出るのですか。

【回答】

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の予測によると、北極圏に近い高緯度地域ほど、温暖化の上昇幅が大きいと考えられています。モンゴルは緯度が高く、しかも乾燥地域なので、温度の上昇が他の地域より激しいと予想されています。

【ご質問⑥】

羊牧が順調に増加していることが確認できますが、経済的な成長のために頭数を増やしているのでしょうか。つまり、人口当たりに必要な数を超えて頭数を増やしていることに脆弱性の原因があるのでしょうか。

【回答】

家畜の頭数が増えている理由は、もちろん経済利益を追求したためです。家畜の脆弱性の原因は、牧民の労働力を超えることもありますが、特に牧草地の牧養力（すなわち環境容量）を超えてしまうことだと思います。